

事業シート(平成29年度予算、平成28年度決算)

事業名	21600 総合交通対策事業費				予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本分野	5	基盤・安全	市長公約	・北陸新幹線駅や東海北陸自動車道沿線の都市圏と高山市を結ぶ広域公共交通の整備・充実を関係機関に要請し、実現します。 ・路線バス、自主運行バス(まちなみバス、のらマイカー)などの運行形態を見直し、市民の足の確保に努めます。 等
						款	2	総務費		個別分野	3	公共交通		
						項	1	総務管理費		施策概要	1	地域公共交通の利便性の向上		
						目	17	総合交通対策費		根拠計画		高山市地域公共交通網形成計画		
担当課	基盤整備部	都市整備課	内線	2363										

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・路線の充実や円滑な乗り継ぎなど、利便性の高い公共交通を確保する。 ・将来に渡って、持続可能な公共交通サービスを提供する。	概要	・効率的で利便性の高い地域公共交通システムの構築 ・地域バス(のらマイカー)、中心市街地バス(まちなみバス)の運行 ・事業者や関係団体との連携による公共交通利用促進策の展開 ・同盟会活動による高山本線の輸送力強化やリニア中央新幹線の建設促進
----	--	----	---

総合計画等 主な指標	H27実績	H28実績	H31目標
自主運行バスの延べ利用者数	164,973人	160,143人	178,000人
まちなみバスの平均利用者数(1便あたり)	5人	5人	6人
のらマイカーの平均利用者数(1便あたり)	4人	4人	5人
「日常的に利用できる公共交通体系が整っている」と感じている市民の割合	(H26) 50.8%	50.2%	↗

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		H27		H28		
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	増減 (b)-(a)
		203,633	199,387	203,794	203,794	887
特定財源	国費 ()					
	県費 (自主運行バス運行費 1/4、1/3)	14,000	14,398	14,000	14,000	4,807
	その他(敷地占用料、補助金返還に係る加算金)				3	3
一般財源		189,633	184,989	189,794	189,794	△ 3,923
個票枝番	主な事業内容					
	バス運行事業	200,898	197,350	201,000	200,846	△ 8
	JR関連推進事業	205	205	145	145	△ 60
	公共交通活性化協議会負担金	1,500	1,500	2,300	2,300	800
	公共交通空白地有償運送に対する助成					
	運転免許自主返納者に対する公共交通利用助成					
	観光特化型バス購入					

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

3.平成27年度事業実績、評価等(Check) H28.8実施

事業実績	・自主運行バス延べ利用者数 のらマイカー 127,380人、まちなみバス 37,593人 ・高山市公共交通活性化協議会の開催 3回 ・降車専用区間の新設など効率化を図ったほか、デマンドタクシーの増便など利用増のための見直しを実施 ・利用促進策の実施(のりものフェスタ、ガイド付きバス、ギャラリーバス、時刻表・企画切符作成ほか)
評価等	・事業者団体等との連携を図り、有効的な公共交通の普及啓発を含む利用促進に取り組むことができた。 ・利用実態の把握・検証により、運行の適正化に向けた見直しやデマンド運行の検討など、利便性に配慮しつつ効率性の向上を図る必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H28完了 ☐ H29完了予定 ・デマンド化を含めた運行方法の見直しや少量輸送体制の検討など、効率的で利便性の高い地域公共交通システムの構築に取り組む。 ・今後も同盟会を通じて、鉄道会社に対して要望活動を行う。

5.平成28年度事業実績、評価等(Check) H29.8実施

事業実績	・自主運行バス延べ利用者数 のらマイカー 121,908人、まちなみバス 38,235人 ・高山市公共交通活性化協議会の開催 3回 ・降車専用区間の新設や、地域での自主運行となる公共交通空白地有償運送の導入検討など、地域の実情に沿った持続可能な交通サービスとするための見直しを実施 ・利用促進策の実施(市政施行80周年記念のりものフェスタ、ガイド付きバス、時刻表・企画切符作成ほか)
評価等	・市政施行80周年記念事業として、内容を拡大して実施したのりものフェスタなど、事業者団体等との連携を図り、公共交通の利用促進に取り組むことができた。 ・引き続き、利用実態の把握・検証により、運行の適正化に向けた見直しやデマンド運行の検討など、利便性に配慮しつつ効率性の向上を図る必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H29完了 ☐ H30完了予定 ・デマンド化を含めた運行方法の見直しや少量輸送体制の検討、観光特化型バス運行の検討など、効率的で利便性の高い地域公共交通システムの構築に取り組む。 ・今後も同盟会を通じて、鉄道会社に対して要望活動を行う。

4.平成29年度予算編成(Action)

H29予算		実施計画額	200,000
要求額	財務部査定額	市長査定額	増減 査定額-(c)
204,554	192,994	192,994	△ 10,800
14,000	14,000	14,000	0
190,554	178,994	178,994	△ 10,800
査定額	説明		
178,100			
145			
1,000			
12,000			
400			
0			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

施策の実施方針	・地方公共交通の利便性向上に関する施策の新規・拡充を検討すること。
担当課 予算要求ポイント	・地域公共交通の利便性の向上

財務部 査定の考え方	・積算内容を精査 ・高根地域の自主運行移行に伴う支援を計上
市長査定の考え方	・財務部査定のとおり

事業シート(平成29年度予算、平成28年度決算)

事業名	41510アスベスト対策事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本分野	2	環境・景観	市長公約	
					款	4	衛生費		個別分野	2	生活環境		
					項	1	保健衛生費		施策概要	3	公害対策の強化		
					目	5	生活環境費		根拠計画				
担当課	基盤整備部	都市整備課	内線	2330									

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・アスベストの飛散による市民の健康被害を予防し、生活環境の保全を図る	概要	・アスベスト含有調査費に対する助成 ・アスベスト除却工事費に対する助成 ・調査・除却に向けた啓発活動
----	------------------------------------	----	--

総合計画等 主な指標	H27実績	H28実績	H31目標

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		H27		H28			
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)	増減 (b)-(a)
		5,000	2,510	5,000	5,000	2,425	△ 85
特定財源	国費 (アスベスト対策事業費 1/3、10/10)	3,000	1,510	3,000	3,000	1,425	△ 85
	県費 ()						
	その他()						
一般財源		2,000	1,000	2,000	2,000	1,000	0
個票枝番	主な事業内容						
	アスベスト含有調査事業補助金	1,000	510	1,000	1,000	425	△ 85
	アスベスト除去等事業補助金	4,000	2,000	4,000	4,000	2,000	0

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.平成29年度予算編成(Action)

H29予算		実施計画額	5,000
要求額	財務部査定額	市長査定額	増減 査定額-(c)
5,000	5,000	5,000	0
3,000	3,000	3,000	0
2,000	2,000	2,000	0
査定額	説明		
1,000			
4,000			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成27年度事業実績、評価等(Check) H28.8実施

事業実績	・助成件数 アスベスト含有調査事業補助金 3件 アスベスト除去等事業補助金 1件 ・制度周知 広報たかやまへ助成制度を掲載 調査の結果、除去等事業の対象となる事が判明した方への助成制度利用意向調査の実施	
評価等	・大規模な建築物の所有者への周知・意向調査は終了したため、更なる制度利用者の増加に向け、施工業者等への助成制度の周知・意向調査が必要である。	
次年度以降の考え方(担当課)	・制度周知のため、引き続き、広報たかやまへの掲載など積極的なPRを行う。	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H28完了 ☐ H29完了予定

5.平成28年度事業実績、評価等(Check) H29.8実施

事業実績	・助成件数 アスベスト含有調査事業補助金 3件 アスベスト除去等事業補助金 1件 ・制度周知 広報たかやまへ助成制度を掲載 調査の結果、除去等事業の対象となる事が判明した方への助成制度利用意向調査の実施	
評価等	・大規模な建築物の所有者への周知・意向調査は終了したため、更なる制度利用者の増加に向け、施工業者等への助成制度の周知・意向調査が必要である。	
次年度以降の考え方(担当課)	・制度周知のため、引き続き、広報たかやまへの掲載など積極的なPRを行う。	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H29完了 ☐ H30完了予定

施策の実施方針	
担当課 予算要求 ポイント	・アスベストによる市民の健康被害を防止するために必要な経費を計上

財務部 査定の 考え方	・要求どおり
市長査定 の考え方	・財政部査定のとおり

事業シート(平成29年度予算、平成28年度決算)

事業名	74100 都市計画推進事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本分野	5	基盤・安全	市長公約	
					款	7	土木費		個別分野	1	土地利用		
					項	4	都市計画費		施策概要	1	総合的な土地利用		
					目	1	都市計画総務費		根拠計画	高山市都市基本計画等			
担当課	基盤整備部 都市整備課		内線	2337									

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・秩序ある整備を図り、都市の健全な発展に寄与する。 ・空家等の適正な管理、活用を図る。 ・建築基準法、建設リサイクル法、省エネ法等により、良好な居住環境を整備する。 ・市有建築物の安全・快適な利用を図る。	概要	・都市計画制度の活用等により土地利用の規制・誘導を実施する。 ・官民連携による総合的な空家等対策を推進する。 ・建築確認及び各届出による確認を実施する。 ・公共建築工事に係る設計及び監理を実施する。 ・一定規模以上の公共建築物の定期調査を実施する。
----	--	----	--

総合計画等 主な指標		H27実績	H28実績	H31目標
「保全と開発のバランスのとれた秩序ある土地利用が行われている」と感じる市民の割合		(H26) 27.2%	26.0%	↗
「町並み景観や農山村景観など地域の美しい景観が保たれている」と感じる市民の割合		(H26) 78.0%	73.7%	↗

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		H27		H28		
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)
		19,763	11,501	24,183	26,183	21,365
特定財源	国費 (空家等対策事業費 1/2 等)	2,800	0	6,500	6,500	5,940
	県費 (空家等対策事業費 1/4、県移譲事務交付金)	75	65	65	65	2,339
	その他(建築申請等手数料、開発許可手数料、飛騨高山ふるさと基金繰入金)	2,381	1,026	1,262	1,262	1,289
一般財源		14,507	10,410	16,356	18,356	11,797
個票枝番	主な事業内容					
	市有建築物の改築改修等に係る設計業務委託	6,000	5,925	8,000	10,000	6,671
	定期報告調査業務委託	4,000	4,066	0	0	0
	古い町並界限における車両進入制限社会実験	7,000	0	0	0	0
◎ 1	空家等の調査、空家等対策計画の策定	0	0	13,000	13,000	11,880
	都市計画図作成	0	0	0	0	0
	美しい景観と潤いのあるまちづくり審議会	292	73	292	292	164

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

3.平成27年度事業実績、評価等(Check) H28.8実施

事業実績	・古い町並界限の車両進入制限を含む交通体系のあり方に関する地域との協議 ・建築確認申請(市)16件、建築確認申請(県)7件、完了検査申請18件、位置指定道路14件、都市計画法第53条許可申請等3件 ・美しい景観と潤いのあるまちづくり条例 大規模開発届15件、中規模開発計画100件、小規模開発計画38件、景観重点区域内行為届出110件 ・市有建築物の改修等に係る設計管理業務の委託15件 ・市有建築物の定期検査及び報告業務の委託13件
評価等	・引き続き、古い町並み周辺における車両進入制限による歩行空間創出に向け、地域住民との合意形成などに取り組む必要がある。 ・空き家対策を推進する必要がある。 ・景観基準の市民への周知に加え、建築関係事業者、宅建協会等に対して景観基準、開発基準、手続き方法等の理解をより深めるための研修会を開催し、基準の遵守や手続きの円滑化を促進する。
次年度以降の考え方(担当課)	・景観計画について、美しい景観と潤いのあるまちづくり審議会等の意見を聴きながら、見直しの検討を進める。 ・市民に対する景観基準の周知に加えて、建築関係事業者、宅建協会や行政書士会に対して景観基準、開発基準、手続き方法等の理解をより深めるための研修会を開催し、基準の遵守や手続きの円滑化を促進する。 ☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H28完了 ☐ H29完了予定

5.平成28年度事業実績、評価等(Check) H29.8実施

事業実績	・空家等調査業務の委託 ・建築確認申請(市)17件、建築確認申請(県)9件、完了検査申請18件、位置指定道路9件、都市計画法第53条許可申請等7件 ・美しい景観と潤いのあるまちづくり条例 大規模開発届20件、中規模開発計画119件、小規模開発計画90件、景観重点区域内行為届出97件 ・市有建築物の改修等に係る設計管理業務の委託16件 ・市有建築物の定期検査及び報告業務の委託0件
評価等	・空家等調査による実態把握を踏まえ、官民連携により総合的な対策を進めるための「空家等対策計画」の策定を進める。 ・景観基準の市民への周知に加え、建築関係事業者、宅建協会等に対して景観基準、開発基準、手続き方法等の理解をより深めるための研修会を開催し、基準の遵守や手続きの円滑化を促進する。 ・引き続き、古い町並み周辺における車両進入制限による歩行空間創出に向け、地域住民との合意形成などに取り組む必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	・市民に対する景観基準の周知に加えて、建築関係事業者、宅建協会や行政書士会に対して景観基準、開発基準、手続き方法等の理解をより深めるための研修会を開催し、基準の遵守や手続きの円滑化を促進する。 ☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H29完了 ☐ H30完了予定

4.平成29年度予算編成(Action)

H29予算		実施計画額	46,000
要求額	財務部査定額	市長査定額	増減 査定額-(c)
67,833	64,027	64,027	39,844
75	65	65	0
820	1,262	1,262	0
66,938	62,700	62,700	46,344
査定額	説明		
8,000			
5,200			
0			
0			
47,600			
292			

※入れに影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

施策の実施方針	・空家の除去・活用等に関する施策の新規・拡充を検討すること。 ・まちなかにおける歩行空間の整備に関する施策の新規・拡充を検討すること。
担当課 予算要求 ポイント	・総合的な空家対策等の推進にかかる事業費を計上 ・都市計画、景観行政、開発許可等による総合的な土地利用の推進に必要な事業費を計上

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり

主要事業個票(平成29年度予算、平成28年度決算)

事業名	74100都市計画推進事業費	区分	☒ H28新規	☐ H29新規	予算	会計	1	一般会計	担当課	基盤整備部 都市整備課
			☐ H28拡充	☐ H29拡充		款	7	土木費		
枝番・内容	1空家等の調査		☐ その他重要事業			項	4	都市計画費	内線	2363
			☐			目	1	都市計画総務費	作成年月	H29.8

事業の目的・概要(Plan)

目的	・空家等の適正な管理、活用を図る。	概要	・空家等調査により実態を把握し、官民連携により総合的な対策を進めるための「空家等対策計画」を策定する。
----	-------------------	----	---

[参考] H27決算(Do・Check) H28.8時点 (千円)

予算額	当初	
	繰越	
	補正等	
	最終	
決算額		
対前年度増減額(決算)		

[参考] H28当初予算(Action) H28.3時点 (千円)

予算額	当初	13,000
主な経費	・空家等調査業務委託料	
対前年度増減額(当初予算)		13,000

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

H28決算(Do・Check) H29.8時点 (千円)

予算額	当初	13,000
	繰越	0
	補正等	0
	最終	13,000
決算額		11,880
対前年度増減額(決算)		11,880

H29当初予算(Action) H29.3時点 (千円)

予算額	当初	0
主な経費		
対前年度増減額(当初予算)		△ 13,000

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業実績、評価等		
次年度以降 の考え方 (担当課)		☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H28完了 ☐ H29完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容] ・空家等調査 既往資料に基づく調査 空家等候補の所有者調査 空家等候補リスト、現地調査票の作成	
[スケジュール] H28.5～H28.11 空家等調査 H28.12～H29.3 空家等候補所有者へのアンケート調査 H29.3 空家等対策計画の策定	

事業実績、評価等	
[事業実績] ・空家等調査 既往資料に基づく調査 空家等候補の所有者調査 空家等候補リスト、現地調査票の作成	
[評価] ・空家等調査により、市内全域に約2,200棟の空家等候補の存在を把握することができた。 ・空家等対策計画については、特定空家等の判断基準や支援制度なども含め、次年度に策定することとした。	
次年度以降 の考え方 (担当課)	・空家等調査を踏まえ、空家等対策計画を策定し、空家等の適正な管理、活用を促進していく。 ☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H29完了 ☐ H30完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容] ・空家等対策計画の策定	
[スケジュール] H29.12 空家等対策計画の策定	

事業シート(平成29年度予算、平成28年度決算)

事業名	74120 建築物耐震対策事業費				予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本分野	5	基盤・安全	市長公約	・市内の業界・企業の皆さんと協力して、地震や災害に強い住宅やインフラストラクチャー(道路・上下水道・情報などを始めとした都市の基盤となる施設)、各種公共施設の整備を進めます。
						款	7	土木費		個別分野	4	住宅公園		
						項	4	都市計画費		施策概要	1	良質な住宅環境の整備		
						目	1	都市計画総務費		根拠計画		高山市耐震改修促進計画		
担当課	基盤整備部	都市整備課	内線	2317										

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・住宅や一定用途・規模以上の建築物に関して、耐震診断及び耐震改修工事に対する助成制度を実施し、地震に強い安全・安心なまちづくりを進める。	概要	・耐震診断に関する助成事業 木造住宅耐震診断委託、伝統構法木造建築物耐震診断に対する助成、建築物耐震診断(木造住宅以外)に対する助成 ・耐震改修工事に関する助成事業 木造住宅耐震改修工事に対する助成、伝統構法木造建築物耐震改修工事に対する助成、特定建築物の耐震改修に関する助成 ・耐震啓発に関する活動 市職員による相談会等の耐震啓発、木造住宅個別訪問事業委託(H29～)
----	--	----	--

総合計画等 主な指標	H27実績	H28実績	H31目標
住宅耐震化率	65.0%	65.0%	80%

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		H27		H28		
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)
		60,610	33,856	47,510	47,510	25,964
特定財源	国費 (建築物耐震改修等事業費 11.5/100、1/3、1/2)	15,600	10,796	8,600	8,600	4,184
	県費 (建築物耐震化補強助成事業費 1/4等)	10,500	5,589	7,000	7,000	3,352
	その他()					
一般財源		34,510	17,471	31,910	31,910	18,428
個票枝番	主な事業内容					
	木造住宅耐震診断事業委託	5,000	2,136	5,000	5,000	3,808
	建築物耐震診断事業補助金・建築物耐震改修工事補助金	55,600	31,720	42,500	42,500	22,146

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.平成29年度予算編成(Action)

H29予算		実施計画額	46,600
要求額	財務部査定額	市長査定額	増減 査定額-(c)
67,670	65,110	65,110	17,600
10,619	12,300	12,300	3,700
7,564	9,500	9,500	2,500
49,487	43,310	43,310	11,400
査定額	説明		
6,000	木造住宅耐震診断事業委託 木造住宅個別訪問事業委託		
59,100			

※入れに影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成27年度事業実績、評価等(Check) H28.8実施

事業実績	・助成等件数 木造住宅耐震診断事業委託 46件 建築物耐震診断事業補助金 一般建築物 4件、 " 伝統構法木造建築物 4件 建築物耐震改修工事補助金 木造建築物 5件 " 伝統構法木造建築物 2件 " 特定建築物 1件 ・広報たかやまへ助成制度を掲載 ・耐震診断を受けた方を対象とした個別相談会の実施、市職員による戸別訪問による啓発 ・出前講座の実施 ・岐阜県木造住宅耐震相談士への助成制度説明会の開催	
評価等	・耐震強度が不足すると考えられる昭和56年5月31日以前建築の建築物を重点的に実施した。 ・伝統構法木造建築物耐震化マニュアルを活用した耐震化を一層推進する。	
次年度以降の考え方 (担当課)	・耐震強度が不足すると考えられる昭和56年5月31日以前建築の建築物を主として、建築物の耐震化を促進するため、啓発活動を継続的に実施していく。 ・耐震診断実施者が耐震改修工事につながるよう、個別相談会などのフォローアップを行う。 ・伝統構法木造建築物耐震化マニュアルを活用して、伝統構法木造建築物耐震化の一層の推進を図る。	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H28完了 ☐ H29完了予定

5.平成28年度事業実績、評価等(Check) H29.8実施

事業実績	・助成等件数 木造住宅耐震診断事業委託 82件 建築物耐震診断事業補助金 一般建築物 0件 " 伝統構法木造建築物 11件 建築物耐震改修工事補助金 木造建築物 8件 " 伝統構法木造建築物 3件 " 特定建築物 0件 ・広報たかやまへ助成制度を掲載 ・耐震診断を受けた方を対象とした個別相談会の実施、市職員による戸別訪問による啓発 ・出前講座の実施 ・岐阜県木造住宅耐震相談士への助成制度説明会の開催 ・高山市耐震改修促進計画の見直し	
評価等	・高山市耐震改修促進計画を見直し、耐震診断義務化建築物及び耐震啓発を強化する区域の指定等を行った。 ・耐震強度が不足すると考えられる昭和56年5月31日以前建築の建築物を重点的に実施した。 ・伝統構法木造建築物耐震化マニュアルを活用した耐震化を一層推進する。	
次年度以降の考え方 (担当課)	・耐震強度が不足すると考えられる昭和56年5月31日以前建築の建築物を主として、建築物の耐震化を促進するため、啓発活動を継続的に実施していく。 ・耐震診断実施者が耐震改修工事につながるよう、個別相談会などのフォローアップを行う。 ・伝統構法木造建築物耐震化マニュアルを活用して、伝統構法木造建築物耐震化の一層の推進を図る。	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H29完了 ☐ H30完了予定

施策の実施方針	・住宅等の耐震化促進に向けた制度の再構築を検討すること。
担当課 予算要求 ポイント	・建築物耐震改修工事に対する助成に係る経費を計上 ・伝統構法木造建築物耐震診断及び耐震改修工事等に対する助成に係る経費を計上
財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財政部査定のとおり

事業シート(平成29年度予算、平成28年度決算)

事業名	74200 駅周辺土地区画整理事業費				予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本分野	5	基盤・安全	市長公約	
						款	7	土木費		個別分野	1	土地利用		
						項	4	都市計画費		施策概要	2	利便性を高める土地利用		
						目	2	土地区画整理費		根拠計画				
担当課	基盤整備部	都市整備課	内線	2313										

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・高山駅周辺において都市計画道路や駅前広場などの公共施設の整備、商業・業務施設の拠点的な整備、良好な住環境の整備などにより、飛驒の玄関口としてふさわしい拠点の形成を図る。	概要	・都市計画道路(花里本母線・高山駅東口線・西之一色花岡線・花里牧ヶ洞線)約1.2km、区画道路(JRアンダーパス含む)約1.4km、駅前広場、高山駅東西自由通路ほかを整備する。
----	---	----	--

総合計画等 主な指標	H27実績	H28実績	H31目標

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		H27		H28			
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)	増減 (b)-(a)
		2,275,920	2,126,836	2,998,766	3,041,766	2,584,894	458,058
特定財源	国費 (土地区画整理事業費 4.5/10 5.5/10)	891,649	917,308	1,189,000	1,189,000	1,288,731	371,423
	県費 ()						
	その他(都市計画税、夢まちづくり基金繰入金 等)	480,000	480,000	800,150	800,150	800,172	320,172
一般財源		904,271	729,528	1,009,616	1,052,616	495,991	△ 233,537
個票枝番	主な事業内容						
◎ 1	自由通路整備工事委託(債務負担)	1,840,000	1,782,079	1,770,000	1,770,000	1,616,032	△ 166,047
◎ 2	駅周辺整備事業(継続費H27～H29)	73,000	30,000	425,000	468,000	348,821	318,821
	公有財産購入	210,000	183,124	178,000	178,000	175,432	△ 7,692

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.平成29年度予算編成(Action)

H29予算		実施計画額	3,000,000
要求額	財務部査定額	市長査定額	増減 査定額-(c)
2,632,463	2,348,947	2,348,947	△ 649,819
616,012	628,000	628,000	△ 561,000
1,500	600,100	600,100	△ 200,050
2,014,951	1,120,847	1,120,847	111,231
査定額	説明		
210,000			
682,000			
791,000			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成27年度事業実績、評価等(Check) H28.8実施

事業実績	・自由通路等整備工事 ・駅周辺整備事業自由通路展示物の製作 ・高山駅前広場等整備工事ほか
評価等	・計画的に事業を実施する必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H28完了 ☐ H29完了予定 ・事業の早期完成を目指して、計画している工程およびコストで事業を実施できるよう関係機関との協議を進める。

5.平成28年度事業実績、評価等(Check) H29.8実施

事業実績	・自由通路等整備工事 ・駅周辺整備事業自由通路展示物の製作 ・高山駅前広場等整備工事ほか ・H28.10.1 JR高山駅東西自由通路完成式典(市制施行80周年記念事業) ・H28.10.2 自由通路、高山駅の供用開始、高山駅西口駅前広場の暫定供用開始
評価等	・計画的に事業を実施する必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☒ H29完了 ☐ H30完了予定 ・事業の早期完成を目指して、計画している工程およびコストで事業を実施できるよう関係機関との協議を進める。

施策の実施方針	・駅周辺地区の整備・活用に関する施策の新規・拡充を検討すること。
担当課 予算要求 ポイント	・高山駅周辺土地区画整理事業の施行完了に向けた経費を計上

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定の考え方	・財務部査定のとおり

主要事業個票(平成29年度予算、平成28年度決算)

事業名	74200 駅周辺土地区画整理事業費	区分	☐ H28新規	☐ H29新規	予算	会計	1	一般会計	担当課	基盤整備部 都市整備課
			☐ H28拡充	☐ H29拡充		款	7	土木費		
枝番・内容	1 自由通路整備工事委託(債務負担)		☒ その他重要事業			項	4	都市計画費	内線	2313
			☐			目	2	土地区画整理費	作成年月	H29.8

事業の目的・概要(Plan)

目的	・高山駅周辺において都市計画道路や駅前広場などの公共施設の整備、商業・業務施設の拠点的な整備、良好な住環境の整備など飛驒の玄関口としてふさわしい拠点の形成を図る。	概要	・高山駅東西自由通路等の整備
----	---	----	----------------

[参考] H27決算(Do・Check) H28.8時点 (千円)

予算額	当初	1,840,000
	繰越	0
	補正等	0
	最終	1,840,000
決算額		1,782,079
対前年度増減額(決算)		1,277,739

事業実績・評価等		
[事業実績] ・基礎工事、鉄骨工事、外装工事		
[評価] ・計画どおりの事業を実施できた。		
次年度以降 の考え方 (担当課)	・JR東海との工事協定(期間: H25～H29)に基づき事業を実施 しており、引き続き事業を継続 する。	☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H28完了 ☒ H29完了予定

[参考] H28当初予算(Action) H28.3時点 (千円)

予算額	当初	1,770,000
主な経費	自由通路等整備工事委託料(債務負担)	
対前年度増減額(当初予算)		△ 70,000

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業内容、スケジュール	
[事業内容] ・内装工事、仕上工事、外構工事、仮設設備撤去	
[スケジュール] H28.10.2 自由通路・高山駅の供用開始	

H28決算(Do・Check) H29.8時点 (千円)

予算額	当初	1,770,000
	繰越	0
	補正等	0
	最終	1,770,000
決算額		1,616,032
対前年度増減額(決算)		△ 166,047

事業実績・評価等	
[事業実績] ・内装工事、仕上工事、外構工事、仮設設備撤去	
[評価] ・計画どおりの事業を実施できた。 ・H28.10.1 JR高山駅東西自由通路完成式典(市制施行80周年記念事業) ・H28.10.2 自由通路、高山駅の供用開始	
次年度以降 の考え方 (担当課)	・JR東海との工事協定(期間: H25～H29)に基づき事業を実施 しており、引き続き事業を継続 する。 ☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☒ H29完了 ☐ H30完了予定

H29当初予算(Action) H29.3時点 (千円)

予算額	当初	210,000
主な経費	自由通路等整備工事委託料(債務負担)	
対前年度増減額(当初予算)		△ 1,560,000

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業内容、スケジュール	
[事業内容] ・仮設設備撤去	
[スケジュール] H29.9 事業完了	

主要事業個票(平成29年度予算、平成28年度決算)

事業名	74200 駅周辺土地区画整理事業費	区分	☐ H28新規	☐ H29新規	予算	会計	1	一般会計	担当課	基盤整備部 都市整備課
			☐ H28拡充	☐ H29拡充		款	7	土木費		
枝番・内容	2 駅周辺整備事業(継続費)		☒ その他重要事業			項	4	都市計画費	内線	2313
			☐			目	2	土地区画整理費	作成年月	H29.8

事業の目的・概要(Plan)

目的	・高山駅周辺において都市計画道路や駅前広場などの公共施設の整備、商業・業務施設の拠点的な整備、良好な住環境の整備など飛驒の玄関口としてふさわしい拠点の形成を図る。	概要	・高山駅前広場等の整備
----	---	----	-------------

[参考] H27決算(Do・Check) H28.8時点 (千円)

予算額	当初	73,000
	繰越	0
	補正等	0
	最終	73,000
決算額		30,000
対前年度増減額(決算)		-

[参考] H28当初予算(Action) H28.3時点 (千円)

予算額	当初	425,000
主な経費	高山駅前広場等整備事業費	
対前年度増減額(当初予算)		352,000

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

H28決算(Do・Check) H29.8時点 (千円)

予算額	当初	425,000
	繰越	43,000
	補正等	
	最終	468,000
決算額		348,821
対前年度増減額(決算)		318,821

H29当初予算(Action) H29.3時点 (千円)

予算額	当初	682,000
主な経費	高山駅前広場等整備事業費	
対前年度増減額(当初予算)		257,000

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業実績、評価等		
[事業実績] ・高山駅西口駅前広場整備工事(H27～H28) A＝3,400㎡		
[評価] ・関連工事との調整により、予定していた工事の一部が実施できなかったためH28年度に繰り越した。		
次年度以降の考え方(担当課)	・H27年度からH29年度までの継続事業として実施しており、引き続き事業を継続する。	☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H28完了 ☒ H29完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容] ・高山駅西口駅前広場整備工事(H27～H28) A＝3,400㎡ ・高山駅東口駅前広場整備工事(H28～H29) A＝5,500㎡	
[スケジュール] H28.10.2 高山駅西口駅前広場の暫定供用開始	

事業実績、評価等		
[事業実績] ・高山駅西口駅前広場整備工事(H27～H28) A＝3,400㎡ ・高山駅東口駅前広場整備工事(H28～H29) A＝5,500㎡		
[評価] ・関連工事との調整により、予定していた工事の一部が実施できなかったためH29年度に繰り越した。 ・H28.10.2 高山駅西口駅前広場の暫定供用開始		
次年度以降の考え方(担当課)	・H27年度からH29年度までの継続事業として実施しており、引き続き事業を継続する。	☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☒ H29完了 ☐ H30完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容] ・高山駅東口駅前広場整備工事 A＝5,500㎡	
[スケジュール] H29.10 高山駅東口駅前広場の供用開始	

事業シート(平成29年度予算、平成28年度決算)

事業名	74500 緑地保全推進事業費				予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本分野	2	環境・景観	市長公約	
						款	7	土木費		個別分野	1	地球環境		
						項	4	都市計画費		施策概要	1	自然環境の保全と活用		
						目	5	景観保全総務費		根拠計画		高山市緑の基本計画		
担当課	基盤整備部	都市整備課	内線	2337										

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・潤いやすらぎを感じることができる緑豊かな環境の保全・創出・活用を推進し、市民誰もが緑の恵みを受けることができる環境を整備する。 ・緑化意識の高揚を図る。	概要	・施設緑化用苗木の配付、緑と親しむ日等におけるイベントの開催 ・市街地周辺の里山の取得 ・間伐等による適正管理 ・里山保全に協力する所有者の拡大と奨励金の交付 ・市指定保存樹等の管理に対する助成
----	--	----	---

総合計画等 主な指標	H27実績	H28実績	H31目標
緑に親しむ日等を実施したイベント参加人数	911人	689人	1,000人

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)						
歳出事業費 (職員人件費を除く)		H27		H28		
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)
		16,759	5,351	17,800	17,800	4,865
						増減 (b)-(a)
						△ 486
特定財源	国費 ()					
	県費 (里山整備事業費 10/10)	0	0	2,000	2,000	0
	その他(緑の基金収入、緑の基金繰入金)	13,126	1,814	11,742	11,742	704
一般財源		3,633	3,537	4,058	4,058	4,161
個票枝番		主な事業内容				
		松倉山市民ハイキングの実施	330	297	330	270
		結婚記念樹の配付	250	192	250	182
		樹木の管理	500	475	500	464
		緑地保全奨励金の交付	2,230	2,117	2,300	2,114
		指定保存樹等管理への補助	1,070	1,070	1,000	889
		里山の取得	10,000	0	10,000	0
		里山の間伐		2,000	2,000	0

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.平成29年度予算編成(Action)

(千円)			
H29予算		実施計画額	16,800
要求額	財務部査定額	市長査定額	増減 査定額-(c)
17,173	17,050	17,050	△ 750
1,690	2,000	2,000	0
11,725	1,725	1,725	△ 10,017
3,758	13,325	13,325	9,267
査定額	説明		
330			
0			
500			
2,300			
1,000			
10,000			
2,000			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成27年度事業実績、評価等(Check) H28.8実施

事業実績	・松倉山市民ハイキング(6月7日)の実施 592人 ・結婚記念樹配付(6月16日～17日)の実施 143組 286人 ・里山保全に協力する所有者に対して奨励金を交付 67人 ・市指定保存樹等の管理に対する助成 24件
評価等	・緑と親しむ日等を実施するイベントについては、緑化に対する意識を新しい世代に引き継ぐため、今後とも継続的に実施する必要がある。 ・里山の取得については、対象となる山林所有者に取得に対する理解をしてもらう必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	・緑と親しむ日等を実施するイベントは事業の改善や廃止の検討を含めた見直しを図る。 ・里山取得は適正な価格に基づいた地権者との交渉を進める。 ・緑の保全契約奨励金は引き続き適正な助成に努める。 ・保存樹等の管理補助金は引き続き適正な助成に努める。 ☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H28完了 ☐ H29完了予定

5.平成28年度事業実績、評価等(Check) H29.8実施

事業実績	・松倉山市民ハイキング(6月5日雨天延期→6月12日)の実施 343人 ・結婚記念樹配布(6月14日～15日)の実施 145組 290人 ・里山保全に協力する所有者に対して奨励金を交付 67人 ・市指定保存樹等の管理に対する助成 20件
評価等	・緑と親しむ日等を実施するイベントについては、緑化に対する意識を新しい世代に引き継ぐため、今後とも継続的に実施する必要がある。 ・里山の取得については、対象となる山林所有者に取得に対する理解をしてもらう必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	・結婚記念樹の配付事業は29年度より廃止 ・里山取得は適正な価格に基づいた地権者との交渉を進める。 ・緑の保全契約奨励金は引き続き適正な助成に努める。 ・保存樹等の管理補助金は引き続き適正な助成に努める。 ☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H29完了 ☐ H30完了予定

施策の実施方針	
担当課予算要求ポイント	・緑化意識の高揚につなげるため継続的な緑化推進に関するイベントの実施に係る経費を計上 ・民間による緑地保全及び緑化を推進するため保全契約及び保存樹等に係る経費を計上 ・市街地から見た里山の景観を保全するため里山取得及び管理に係る経費を計上
財務部査定の考え方	・積算内容を精査
市長査定の考え方	・財務部査定のとおり

事業シート(平成29年度予算、平成28年度決算)

事業名	74510 景観保全奨励事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本分野	2	環境・景観	市長公約	
					款	7	土木費		個別分野	3	景観		
					項	4	都市計画費		施策概要	1	個性ある景観の保全・活用		
					目	5	景観保全総務費		根拠計画	高山市景観計画、高山市歴史的風致維持向上計画			
担当課	基盤整備部 都市整備課			内線	2317								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・市街地景観保存区域における保存活動を支援することにより、美しい景観の保全・創出を図る。 ・景観保全に対する助成により、美しい景観の保全・創出を図る。 ・屋外広告物条例に基づき、適正な屋外広告物の掲出を指導する。	概要	・修理・修景に係る助成事業 市街地景観保存会補助金、市街地景観保存区域建造物補助金、景観重要建造物補助金、景観形成事業(塙等設置)補助金 高山の景観にふさわしい看板補助金、生がき等設置補助金、一般開放型便所改修補助金 ・屋外広告物許可 ・景観団体等への負担金
----	--	----	---

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		H27		H28			
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)	増減 (b)-(a)
		28,389	22,476	34,913	34,913	21,934	△ 542
特定財源	国費 (景観形成推進事業費 4.5/10)	9,320	8,660	13,050	13,050	7,827	△ 833
	県費 (県移譲事務交付金)	38	31	38	38	30	△ 1
	その他(飛騨高山ふるさと基金繰入金、屋外広告物関係手数料)	2,750	6,042	5,014	5,014	9,591	3,549
一般財源		16,281	7,743	16,811	16,811	4,486	△ 3,257
個票枝番	主な事業内容						
	市街地景観保存会補助金	1,658	1,577	1,658	1,658	1,575	△ 2
	景観重要建造物補助金	5,000	2,645	5,000	5,000	1,197	△ 1,448
	市街地景観保存区域建造物補助金	15,000	15,510	15,000	15,085	15,085	△ 425
◎ 1	高山の景観にふさわしい看板補助金	900	855	6,600	6,600	1,522	667
	景観形成事業(塙等設置)補助金等	1,500	1,180	1,500	1,415	892	△ 288
	生がき等設置補助金	900	45	900	900	54	9
◎ 2	東山寺院群至宝めぐり(市制施行80周年記念事業)			1,000	1,000	1,000	1,000

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

3.平成27年度事業実績、評価等(Check) H28.8実施

事業実績	・助成件数 市街地景観保存会補助金 12件 景観重要建造物補助金 2件 市街地景観保存区域建造物補助金 13件 高山の景観にふさわしい看板補助金 6件 景観形成事業(塙等設置)補助金 3件 生がき等設置補助金 1件 ・景観デザイン賞の審査及び表彰	
評価等	・市街地景観保存区域建造物の修景工事等に係る意向調査を行い、効率的な補助金の活用を進めた ・美しい景観を創出した者を景観デザイン賞の制度により表彰し、市民の意識高揚を図った ・景観重要建造物の指定を行った ・違反広告物、既存不適格広告物の所有者及び管理者への許可基準の周知、指導等が必要である	
次年度以降の考え方(担当課)	・駅前地区における、高山の景観にふさわしい看板設置推進事業の拡充 ・広報紙による制度周知や、市街地景観保存区域建造物の修景工事に係る意向調査の実施 ・景観重要建造物の積極的な指定及び保存・活用の推進 ・違反広告物及び不適格広告物(条例適用時に適合しない部分がある広告物)に対する指導強化 ・市街地景観保存区域の拡大に向けて、地域住民との合意形成に向けた協議 ・各種補助の周知	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H28完了 ☐ H29完了予定

5.平成28年度事業実績、評価等(Check) H29.8実施

事業実績	・助成件数 市街地景観保存会補助金 13件 景観重要建造物補助金 1件 市街地景観保存区域建造物補助金 10件 高山の景観にふさわしい看板補助金 4件 景観形成事業(塙等設置)補助金 2件 生がき等設置補助金 1件 ・景観デザイン賞の審査及び表彰 ・東山寺院群至宝めぐり(市制施行80周年記念事業) ・高山市景観計画の見直し	
評価等	・市街地景観保存区域建造物の修景工事等に係る意向調査を行い、効率的な補助金の活用を進めた ・美しい景観を創出した者を景観デザイン賞の制度により表彰し、市民の意識高揚を図った ・景観重要建造物の指定を行った ・違反広告物、既存不適格広告物の所有者及び管理者への許可基準の周知、指導等が必要である ・市民参加条例に基づき市民の意見を取り入れながら、高山市景観計画における屋外広告物の基準、建築物の色彩基準を見直しした	
次年度以降の考え方(担当課)	・駅前地区における、高山の景観にふさわしい看板設置推進事業の拡充 ・広報紙による制度周知や、市街地景観保存区域建造物の修景工事に係る意向調査の実施 ・景観重要建造物の積極的な指定及び保存・活用の推進 ・見直し後の景観基準への適合化支援及び違反広告物に対する指導強化 ・市街地景観保存区域の拡大に向けて、地域住民との合意形成に向けた協議 ・各種補助の周知	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H29完了 ☐ H30完了予定

4.平成29年度予算編成(Action)

H29予算		実施計画額	60,300
要求額	財務部査定額	市長査定額	増減 査定額-(c)
80,464	83,743	83,743	48,830
34,200	35,080	35,080	22,030
30	30	30	△ 8
0	9,900	9,900	4,886
46,234	38,733	38,733	21,922
査定額	説明		
1,658			
5,000			
15,000			
28,000	景観計画見直しによる既存不適格物件改修等(H29～)		
31,500	塙等設置事業 外壁改修事業(H29～)		
900			
0			

※入れに影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

施策の実施方針	・美しいまち、農山村景観の形成に実する施策の新規・拡充を検討すること。
担当課 予算要求 ポイント	・市街地景観保存区域14保存会への補助額を計上 ・高山の景観にふさわしい看板設置推進事業の見直し

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財政部査定のとおり

主要事業個票(平成29年度予算、平成28年度決算)

事業名	74510 景観保全奨励事業費	区分	☐ H28新規	☐ H29新規	予算	会計	1	一般会計	担当課	基盤整備部 都市整備課
			☒ H28拡充	☐ H29拡充		款	7	土木費		
枝番・内容	1 高山の景観にふさわしい看板補助金		☐ その他重要事業			項	4	都市計画費	内線	2317
			☐			目	5	景観保全総務費	作成年月	H29.8

事業の目的・概要(Plan)

目的	・高山の景観にふさわしい看板の設置等の事業に補助金を交付し、町並景観及び環境の向上を図る。	概要	・高山の景観にふさわしい看板の設置及び高山の景観にふさわしくない看板を撤去する事業に補助金を交付
----	---	----	--

[参考] H27決算(Do・Check) H28.8時点 (千円)

予算額	当初	900
	繰越	0
	補正等	0
	最終	900
決算額		855
対前年度増減額(決算)		△ 312

[参考] H28当初予算(Action) H28.3時点 (千円)

予算額	当初	6,600
主な経費	・一般地域、中心市街地	3,600千円
	・駅前地区の一部(H28拡充)	3,000千円
対前年度増減額(当初予算)		5,700

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

H28決算(Do・Check) H29.8時点 (千円)

予算額	当初	6,600
	繰越	0
	補正等	0
	最終	6,600
決算額		1,522
対前年度増減額(決算)		667

H29当初予算(Action) H29.3時点 (千円)

予算額	当初	28,000
主な経費	・一般地域、中心市街地、駅前地区の一部	5,000千円
	・景観計画見直しに伴う拡充分	23,000千円(H29～)
対前年度増減額(当初予算)		21,400

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業実績、評価等		
[事業実績] ・補助件数 6件 (設置:4件 撤去:2件)		
[評価] ・広報等による制度の周知 ・違反広告物、既存不適格広告物の所有者及び管理者への許可基準の周知、基準遵守の指導強化		
次年度以降の考え方(担当課)	・違反広告物、既存不適格広告物の所有者及び管理者への許可基準の周知、基準遵守の指導強化	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H28完了 ☐ H29完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容] ・高山の景観にふさわしい看板の設置及び高山の景観にふさわしくない看板の撤去の事業に補助金を交付	
[スケジュール] H28.4～H29.3 制度周知 対象者との個別協議 補助申請審査等事務の実施	

事業実績、評価等		
[事業実績] ・補助件数 4件 中心市街地 撤去のうえ設置:1件、設置:1件、撤去:1件 駅前地区 撤去:1件		
[課題] ・広報等による制度の周知 ・違反広告物、既存不適格広告物の所有者及び管理者への許可基準の周知、基準遵守の指導強化		
次年度以降の考え方(担当課)	・違反広告物、既存不適格広告物の所有者及び管理者への許可基準の周知、基準遵守の指導強化	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H29完了 ☐ H30完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容] ・高山の景観にふさわしい看板の設置及び高山の景観にふさわしくない看板の撤去の事業に補助金を交付	
[スケジュール] H29.4～H30.3 制度周知 対象者との個別協議 補助申請審査等事務の実施	

主要事業個票(平成29年度予算、平成28年度決算)

事業名	74510 景観保全奨励事業費	区分	☐ H28新規	☐ H29新規	予算	会計	1	一般会計	担当課	基盤整備部 都市整備課
			☐ H28拡充	☐ H29拡充		款	7	土木費		
枝番・内容	2 東山寺院群至宝めぐり(市制施行80周年記念事業)		☒ その他重要事業			項	4	都市計画費	内線	2317
			☐			目	5	景観保全総務費	作成年月	H29.8

事業の目的・概要(Plan)

目的	・東山寺院群の至宝めぐりを行い、市制施行80周年を祝うとともに、市民や国内外からの観光客に高山市の魅力を広める。	概要	・東山寺院群各社寺の寺紋・社紋スタンプを集めながら至宝を観覧する。
----	--	----	-----------------------------------

[参考] H27決算(Do・Check) H28.8時点 (千円)

予算額	当初	
	繰越	
	補正等	
	最終	
決算額		
対前年度増減額(決算)		

[参考] H28当初予算(Action) H28.3時点 (千円)

予算額	当初	1,000
主な経費	・東山至宝めぐり実行委員会負担金 1,000千円	
対前年度増減額(当初予算)		1,000

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

H28決算(Do・Check) H29.8時点 (千円)

予算額	当初	1,000
	繰越	0
	補正等	0
	最終	1,000
決算額		1,000
対前年度増減額(決算)		1,000

H29当初予算(Action) H29.3時点 (千円)

予算額	当初	
主な経費		
対前年度増減額(当初予算)		

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業実績、評価等		
次年度以降の考え方(担当課)		☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H28完了 ☐ H29完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容] ・東山寺院群各社寺の寺紋・社紋スタンプを集めながら至宝を観覧する 東山寺院群にある10社寺 久昌寺、雲龍寺、東山白山神社、大雄寺、素玄寺、東山神明神社、天照寺、法華寺、善応寺、宗猷寺 ・参加者数(目標) 1000名	
[スケジュール] H28. 4～H28.10 実行委員会設立等準備、設立総会 市広報等による周知 H28.10下旬～H28.11月上旬 東山至宝めぐりの実施 H28.12 実行委員会 総会	

事業実績、評価等		
[事業実績] ・東山寺院群にある10の社寺において、普段は一般公開されていない本堂や至宝などを見学頂いた。また、各社寺に置かれた寺紋・社紋のスタンプを集め、秋の東山遊歩道を散策してもらった。 ・東山寺院群にある10社寺の至宝めぐりを実施 久昌寺、雲龍寺、東山白山神社、大雄寺、素玄寺、東山神明神社、天照寺、法華寺、善応寺、宗猷寺 ・実施日 (7日間) 10/22(土)、10/23(日)、10/29(土)、10.30(日) 11/3(祝)、11/5(土)、11/6(日) ・参加者: 約1,600人 ・観光課HPアクセス数: 236,616 (10/22～11/6) [評価] (東山至宝めぐり実行委員会 総会(H28.11.28) 委員より) ・参加者目標を超え、東山寺院群の魅力を伝えることができた。 ・市民からも好評であった。		
次年度以降の考え方(担当課)	・平成28年度単年度事業	☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H29完了 ☐ H30完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	
[スケジュール]	

事業シート(平成29年度予算、平成28年度決算)

事業名	74600 公園管理事業費				予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本分野	5	基盤・安全	市長公約	
						款	7	土木費		個別分野	4	住宅公園		
						項	4	都市計画費		施策概要	3	利用しやすく特色ある公園づくり		
						目	6	公園管理費		根拠計画		高山市緑の基本計画		
担当課	基盤整備部	都市整備課	内線	2312										

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・市民や観光客が公園やまちかどスポットを安全・安心・快適に利用できるよう管理する。	概要	・都市公園及び地区公園の改修と維持管理 ・まちかどスポットの維持管理 ・市道の街路樹の維持管理
----	---	----	---

総合計画等 主な指標	H27実績	H28実績	H31目標
住民一人当たりの都市公園面積	8.8㎡	8.8㎡	10㎡
「身近に憩える公園があり、快適な住宅環境が整っている」と感じている市民の割合	(H26) 35.8%	32.9%	↗

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)						
歳出事業費 (職員人件費を除く)		H27		H28		
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)
		110,678	109,023	120,178	126,178	123,708
						増減 (b)-(a)
						14,685
特定財源	国費 ()					
	県費 ()					
	その他(公園使用料、敷地占用料、市預金利子、まちづくり基金収入)	1,400	932	400	400	912
一般財源		109,278	108,091	119,778	125,778	122,796
個票枝番	主な事業内容					
	指定管理施設	37,780	37,623	36,348	36,210	36,131
	直営管理施設	62,900	61,439	63,830	69,968	67,605
	都市公園等整備工事	9,998	9,961	20,000	20,000	19,972

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.平成29年度予算編成(Action)

(千円)			
H29予算		実施計画額	120,000
要求額	財務部査定額	市長査定額	増減 査定額-(c)
131,842	121,458	121,458	1,280
659	400	400	0
131,183	121,058	121,058	1,280
査定額	説明		
37,598			
63,860			
20,000			

※入れに影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成27年度事業実績、評価等(Check) H28.8実施

事業実績	・都市公園36箇所及び地区公園39箇所の維持管理 ・まちかどスポット107箇所の維持管理 ・市道(46路線)の街路樹の維持管理 ・公園、スポットの改修整備「宮川緑地公園駐車場ほか」 ・街路樹の改修整備
評価等	・都市公園及び地区公園は収益が上がる施設ではあるが、まちに潤いとやすらぎを与えるかけがえない場所であるため、市が責任をもって管理する必要がある。 ・遊具等の公園施設は、緊急度や利用度の高いものから順次修繕を実施している。
次年度以降の考え方(担当課)	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H28完了 ☐ H29完了予定 ・遊具、植栽等の公園施設の点検を継続的にを行い、安心して利用できる公園、まちかどスポット及び街路樹の適正な維持管理に努める。 ・引き続き指定管理者による効率的な施設管理を行う。

5.平成28年度事業実績、評価等(Check) H29.8実施

事業実績	・都市公園36箇所及び地区公園39箇所の維持管理 ・まちかどスポット107箇所の維持管理 ・市道(48路線)の街路樹の維持管理 ・公園、スポットの改修整備「中山の里ふれあい公園(第2)公衆トイレほか」 ・街路樹の改修整備
評価等	・都市公園、地区公園について、計画的な改修が図られるよう、バリアフリー化等が必要な箇所の調査を随時実施する。 ・公共施設や街路樹の管理に対する方針を定め、コスト縮減を図りつつ適正に管理する必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H29完了 ☐ H30完了予定 ・遊具、植栽等の公園施設の点検を継続的にを行い、安心して利用できる公園、まちかどスポット及び街路樹の適正な維持管理に努める。 ・引き続き指定管理者による効率的な施設管理を行う。

施策の実施方針	
担当課 予算要求 ポイント	・市民や観光客が公園やまちかどスポットを安心安全、快適に利用できるようにするための必要な経費を計上 ・街路樹根より対策などバリアフリー対策工事に必要な経費を計上 ・安心安全に公園を利用してもらうための危険箇所の対策工事に必要な経費を計上

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり

事業シート(平成29年度予算、平成28年度決算)

事業名	74700 歴史環境保全整備事業				予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本分野	5	基盤・安全	市長公約	
						款	7	土木費		個別分野	4	住宅公園		
						項	4	都市計画費		施策概要	3	利用しやすく特色ある公園づくり		
						目	7	快適環境整備費		根拠計画		高山市歴史的風致維持向上計画		
担当課	基盤整備部	都市整備課	内線	2312										

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・人が集えるまちかどスポットを適正に配置し、市街地の利便性を高め周遊性の向上を図る。 ・まちかどの歴史的風致の向上を図る。	概要	・休憩施設や情報揭示施設等を備えたまちかどスポットを「憩いの場」として整備する。
----	--	----	--

総合計画等 主な指標	H27実績	H28実績	H31目標

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)							
歳出事業費 (職員人件費を除く)		H27		H28			
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)	増減 (b)-(a)
		10,000	9,289	10,000	10,000	9,316	27
特定財源	国費 (歴史的環境保全整備事業費 4.5/10)	4,000	4,500	4,500	4,500	3,512	△ 988
	県費 ()						
	その他 ()						
一般財源		6,000	4,789	5,500	5,500	5,804	1,015
個票枝番	主な事業内容						
	憩いの場整備工事	10,000	9,289	10,000	10,000	9,316	27

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.平成29年度予算編成(Action)

(千円)			
H29予算		実施計画額	10,000
要求額	財務部査定額	市長査定額	増減 査定額-(c)
10,000	10,000	10,000	0
4,500	5,000	5,000	500
5,500	5,000	5,000	△ 500
査定額	説明		
10,000			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成27年度事業実績、評価等(Check) H28.8実施

事業実績	・憩いの場整備工事(3件)「宮地家住宅裏ほか」
評価等	・老朽化したスポットを改修するだけでなく、新たな交流・休憩場所として地域住民に親しまれる施設へ変換する必要がある。 ・これまで整備した「周遊ルート」との相乗効果が得られる、整備内容と箇所の選定が必要である。
次年度以降の考え方(担当課)	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H28完了 ☐ H29完了予定 ・計画的な憩いの場の整備を進める。

5.平成28年度事業実績、評価等(Check) H29.8実施

事業実績	・憩いの場整備工事(2件)「名田町スポットほか」
評価等	・財源の一部として国庫補助を活用し市の財政負担を軽減し、設計段階においても事前調査を十分に行い、コスト縮減を図った。 ・これまで整備した「周遊ルート」との相乗効果が得られる、整備内容と箇所の選定が必要である。
次年度以降の考え方(担当課)	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H29完了 ☐ H30完了予定 ・計画的な憩いの場の整備を進める。

施策の実施方針	
担当課 予算要求 ポイント	・憩いの場整備に必要な経費を計上 ・まちかどの休憩施設の充実を図る。

財務部 査定の 考え方	・要求どおり
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり

事業シート(平成29年度予算、平成28年度決算)

事業名	75100市営住宅管理事業費				予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本分野	5	基盤・安全	市長公約	
						款	7	土木費		個別分野	4	住宅公園		
						項	5	住宅費		施策概要	2	市営住宅の効果的・効率的な供給と管理		
						目	1	住宅管理費		根拠計画		市営住宅整備計画		
担当課	基盤整備部	都市整備課	内線	2337										

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・住宅に困窮する市民に対して、低廉な家賃で住宅を供給し、生活の安定を図る ・市営住宅の整備・改修を進め、居住者の生活環境の向上を図る。	概要	・入居者からの相談等に対応する。 ・指定管理者との役割分担のもと、市営住宅の維持管理を行う。 ・立地場所の需要に見合った供給量を確保し、住宅の適正配置を行う。 ・計画的な整備工事を実施する。
----	--	----	--

総合計画等 主な指標	H27実績	H28実績	H31目標
市営住宅入居率	81%	81%	90%

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		H27		H28		
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)
		110,378	109,073	110,158	123,158	122,855
特定財源	国費 ()					
	県費 ()					
	その他(公営住宅使用料、敷地占用料、督促手数料、市営住宅敷金基金収入、市営住宅退去修繕費雜入)	79,648	109,073	80,158	80,158	122,855
一般財源		30,730	0	30,000	43,000	0
個票枝番	主な事業内容					
	指定管理委託料	19,600	19,600	19,600	19,869	19,900
	三福寺団地借上料(債務負担)	53,973	53,973	53,973	53,973	53,973
	市営住宅改修工事	30,000	28,882	30,000	42,731	42,514

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

3.平成27年度事業実績、評価等(Check) H28.8実施

事業実績	・内覧会の実施、現状渡しの方ルール導入など入居募集方法の見直し ・滞納整理の強化(連帯保証人への通知、支所との連携)による徴収目標達成 ・指定管理者との連携を密にした維持管理 ・宇津江団地床改修 ほか整備工事
評価等	・地域の実情と需給バランスを考慮した住宅の適正配置が必要である。 ・滞納傾向にある居住者への早期指導と連帯保証人を含めた滞納整理の強化が必要である。 ・悪質滞納者に対しては法的措置も含めた厳正な対応が必要である。
次年度以降の考え方(担当課)	☒維持・改善 ☐拡大 ☐縮小 ☐廃止検討 ☐H28完了 ☐H29完了予定 ・指定管理者と連絡を密にした維持管理を実施する。 ・地域の実情に合わせて、配置の適正化を検討する。

5.平成28年度事業実績、評価等(Check) H29.8実施

事業実績	・滞納整理の強化(連帯保証人への通知、支所との連携)による徴収目標達成 ・指定管理者との連携を密にした維持管理 ・下岡本団地浴室機器 ほか整備工事
評価等	・地域の実情と需給バランスを考慮した住宅の適正配置が必要である。 ・滞納傾向にある居住者への早期指導と連帯保証人を含めた滞納整理の強化が必要である。 ・悪質滞納者に対しては法的措置も含めた厳正な対応が必要である。
次年度以降の考え方(担当課)	☒維持・改善 ☐拡大 ☐縮小 ☐廃止検討 ☐H29完了 ☐H30完了予定 ・指定管理者と連絡を密にした維持管理を実施する。 ・地域の実情に合わせて、配置の適正化を検討する。

4.平成29年度予算編成(Action)

H29予算		実施計画額	110,000
要求額	財務部査定額	市長査定額	増減 査定額-(c)
146,545	106,095	106,095	△ 4,063
77,810	80,095	80,095	△ 63
68,735	26,000	26,000	△ 4,000
査定額	説明		
19,600			
53,973			
26,000			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

施策の実施方針	
担当課 予算要求 ポイント	・市営住宅を適正に管理するための経費を計上 ・老朽化の著しい住宅等の改修に必要な経費を計上

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり